

<全体分析>

試験時間

90分

解答形式

記述式（一部客観式）。

分量・難易（前年比較）

分量（減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加）

難易（易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化）

2023年度は読解総合問題 [I]と[II]の総語数は1,549 words だったが、2024年度は読解総合問題 [I] [II]と英作文問題 [III]の総語数は1,887 words となり、340 words 程度増加。問題の難易は「やや難化」となった。

出題の特徴や昨年との変更点

(特徴)

- ・読解総合問題2題と自由英作文1題という構成は昨年と同様である。
- ・和訳、英作文を中心とする国公立大型の記述式問題と、私立大型の客観式選択問題で構成されている。
- ・英文和訳問題では、英文の正確な構造把握をベースにした自然な日本語訳が求められている。また、その多くで指示語の明示が求められている。
- ・内容真偽問題においては、本文の内容から判断できないものと、本文の内容に矛盾するものの区別が求められている。

(新傾向)

- ・[I] 【読解総合】問8 英文の内容を英語で説明する問題。
- ・[III] 【英作文】読者からの手紙（英文）が添えられており、手紙の中にポイントを読み取り、回答をする形式。

(昨年との変更点)

- ・昨年【読解総合】で3題あった語句整序問題が姿を消した。
- ・[III]の自由英作文の指定語数は、ここ数年100語以上で安定していたが、今回は100語程度となった。

<大問分析>

番号	区分	出題分野・テーマ	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
[I]	読解総合	「モンテビデオでの淡水の枯渇」 (974words)	問1 条件付き和訳問題。(代名詞 it の指示内容明示、分詞構文、関係詞、end up in A の訳出) 問2 品詞変換問題。文構造を理解して単語の品詞を適切な品詞に変換する。 問3 動詞の語形を適切に変える問題。文脈を理解して空所に入る動詞を選択して適切な形に変える。 問4 条件付き英訳問題。(関係詞を用いて二つの文をつなげる条件が付されている) 問5 英訳問題。 問6 説明問題。(二つの理由について、それぞれ 40 字以内の字数制限が付されている) 問7 和訳問題。(has rewritten that comforting story の訳出に注意) 問8 英文の内容を英語で説明する問題。 問9 和訳問題。(took issue with A、分詞構文、that 節の並列の訳出) 問10 条件付き和訳問題。(all of them の内容明示、分詞構文、as ... as の訳出) 問11 条件付き和訳問題。(代名詞 it の指示内容明示) 問12 条件付き説明問題。(代名詞 they の指示内容明示と理由の説明) 問13 内容真偽問題。C (読み取れないもの) を含む設問。2. は can be fatal かどうかが本文内容から明確に読み取れない。	やや難
[II]	読解総合	「健康的な食事が心の健康に与える影響」(803 words)	Q1 客観式問題。文脈を理解して空所に入る副詞/接続詞を選択する。 Q2 客観式問題。下線部と同意の動詞を選択するが、適切な形に変える必要はない。 Q3 和訳問題。(同格、much the way の構造理解) Q4 説明問題。 Q5 客観式問題。(文脈に合う名詞を選択する) Q6 英訳問題。 Q7 前置詞補充問題。 Q8 和訳問題。(not A but B、see if... の意味理解、spur O to do の意味、exercise と improve の共通関係) Q9 条件付き説明問題。(which の内容と理由の説明) Q10 客観式問題。本文の空所に英文を補充する。	やや難
[III]	英作文	自由英作文「カンニングした宿題」 (110 words)	ワシントン・ポストに掲載されている Dear Abby というコラムの一部。Dear Abby はアメリカの新聞で最も人気のあるアドバイスコラムの1つで、読者からの悩みについて回答者となったつもりで返信を書く問題。読者からの手紙が添えられており、その中にポイントを読み取り、手紙に対して回答する形式。	標準

注：区分は「英文解釈」「読解総合」「英作文」「文法・語法」「聞き取り」「その他」

難易度は5段階「難・やや難・標準・やや易・易」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

例年、大問構成に多少の変化が見られるものの、下線部和訳と英訳、内容説明、及び自由英作文が設問の中心であることには変わりはない。英文を読む量も大切だが、英文の構造を正確に理解する力をつけることが肝心である。なお、基本的な文法・語法・イディオムなどの出題は姿を消しているが、この点もしっかり学習しておくといよい。ここ数年、読解問題のテーマは、医学・医療だけでなく人文・社会などさまざまな分野に及んでいるので、本学部の過去問はもちろんのこと、記述問題を中心とした国公立大型の学習を積む必要があるだろう。自由英作文については、状況を説明したり、個人的体験や好み、また社会問題に対して自分の意見を主張したりするなど、さまざまなテーマを設定して、100語以上の長さの英文を書く練習を重ねていく必要がある。日本語、英語ともに記述量が多いので、解答を作成する実戦演習が合否を決定すると言えるだろう。